



No. 2966

第3284回例会

平成24年2月1日

DISTRICT 2500

OBIHIRO

ROTARY CLUB

方針

ロータリーを学び
共に楽しもう

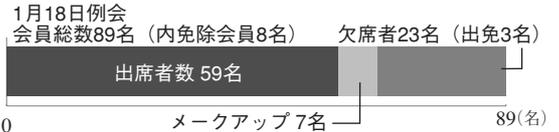
会長 加藤 維利

2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

出席
報告



■プログラム

「帯広ロータリークラブ：アーカイブⅡ」



奥 周盛 記録保存委員長

・ロータリーのメモリアル

1月から3月にかけて、ロータリーにとりましてはメモリアルな時期です。1月27日はポール・ハリスの命日、2月23日は国際ロータリーの創立記念日、3月15日は帯広ロータリークラブの創立記念日です。本日は記録保存委員会の担当ですので、過去の歴史資料から色々な話題を提供したいと思います。

クラブの事務局には、非常に多くの記録文書が保管されておりますが、7年前に行われました創立70周年記念誌が50数冊の在庫がありましたので、関係者のお許しをいただいで配付することとしました。

70周年記念式典は、2005年3月6日に行われましたが、当時の会員109名のうち現在在籍する会員は51人です。現在の会員数89名のうち、70周年以降に入会した38人の会員にこの記念誌を進呈することになりました。

この記念誌は、当日のカラー写真をふんだんに掲載されておりますので、式典や懇親会の様子を楽しくご覧いただけるのではないのでしょうか。

・帯広RCの主な記念事業

最初の記念事業は、創立20周年・再開5周年ですが、国際ロータリー50周年と重ねて行われました。帯広RCは1935年の3月15日に創立しましたが、戦争という世情のなか、5年後の1940年9月5日の例会を最後に解散し、その10年後の1950年12月19日に再開して間もない時期の大きな祝賀行事でした。

その後、帯広RCの周年事業は、規模の違いはありますが、厳格に5年間隔で実施されておりますが、クラブの周年事業以外にも、いくつかの記念事業を実施しています。

1965年の国際ロータリー創立60周年というのは、25年周期を慣例とする国際ロータリーでは変則で、おそらく日本独自のものと思われませんが、この年、帯広ロータリークラブは30周年です。この時の記念事業として、帯広民衆駅の完成に合わせて駅前広場に、帯広北RCと合同でブロンズ像「大地」を設置寄贈しています。

1980年の国際ロータリー75周年の記念事業として、2年後の1982年に、帯広市開基100周年、市制施行50周年に合わせて、市内の3RCが緑ヶ丘の百年記念館の南庭に「大地と夢想」という大ブロンズ像を設置贈呈し、「21世紀へのメッセージ」と云うタイムカプセルを埋めました。開封は、50年後の2032年と約束されました。

・25周年記念誌から拾い読み

創立25周年（再開10周年）の記念式典は、1961年（昭和36年）の2月23日の国際ロータリー創立記念日に挙行されました。会場は帯広商工奨励館で、式典から祝宴まで3時間通しの式次第が細かく分刻みで書かれております。会長挨拶19分、式典委員長挨拶14分、来賓祝辞はすべて3分です。祝宴のアトラクションは、小唄、舞踊、歌謡曲、楽団演奏など、当時の世相が偲べれます。

当時の会員数は56人で、集合記念写真には、お若い田中PGの顔や現在の会員の祖父にあたる会員も多数居られて、帯広RCの受継がれている歴史と伝統に感動します。

例会場の変遷に関する記事がありました。戦前は藤原デパート、戦後再開後は平原荘ホテル、宮本食堂、労働会館と変遷した後、1953年12月から日本勧業銀行帯広支店でした。この例会場はその後1968年5月にステーションホテルに移るまでのおよそ15年間続きます。

宮脇富（あつし）パストガバナーの祝辞がありました。宮脇PGは、帯広RCの戦後再開の功労者です。当時、帯広畜産大学学長で酪農に関する学術的功績のみならず、英語に堪能で戦後の日本ロータリーに多大な貢献をされた方です。祝辞の一部をご紹介します。当時の帯広クラブの様子が伝わる大変興味深い内容です。

・宮脇富パストガバナーの25周年式典祝辞（概要）

（前略）・・・此のクラブには創立以来数々の思い出を持っているが、簡単に申し上げると、25年前創立された当時は出席率も悪く、困ったクラブが出来たものと思ったが、それは日を追って順次ロータリー精神を体して来る様になった。当時私は札幌クラブの幹事をして居たが、此のクラブの例会場は藤原デパートの三階の方の部屋で、ああいう例会場も他には類例を見なかった。然し、藤本長蔵氏の様に英語など一句も知らない人が世界漫遊など堂々とやって来られたことなど、進取の気性に富んだ人々の集まりで、他日必ず立派なものになるであろうという期待もあった。

戦後、日本のロータリー再発足の時は、まず東京、福岡、大阪、神戸、京都、名古屋、札幌の七つのクラブが出来たのであるが、その後各地にも復活がはじまって来た。ちょうど私が帯広に住んで居た時で、此处にもロータリー再発足の気運が出来て種々と相談に参画したが、戦前と同様なものにならない様に種々と考え合って再開がおくれたということもあった。

今はこのクラブは日本国内でも最も優秀なクラブのひとつであるが、それは即ち世界に於いても優秀なクラブであるということにもなるのであって、社会奉仕の事業にも、出席率にも日本のロータリーの模範的なクラブになって来た。殊に此のクラブの会報の如きは海外にも有名であって、今日、此の会報の担当者の能勢君に感謝状をあげたことは大変に結構なことと思う。エバンストンのRI中央事務局でも帯広のブリッテンは有名であって、私も之に感謝と誇りをもっている。・・・以下省略

■会長報告

加藤 維利 会長



今日は先週の続きです。シェルドンが突如ロータリーを去った1年後、1931年にシカゴ・クラブの会員であったハーバード・テラーは、不況のあおりで倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の経営を引き受ける事になりました。この会社の再建に失敗すれば250人の従業員が仕事を失うことになりました。彼はこの状況から脱出して、会社を再建するためには、道徳的、倫理的な指標が必要だと考えていました。

ある朝、社長室の机の前で頭をかかえて考えていたときに、思い浮かんで書き留めた24語の言葉が「四つのテスト」でした。ハーバード・テラーが社員に四つのテストを提示し、従業員がそれぞれの職場で実行する事により、会社の業務は改善を続け、5年後には借金を完済し、15年後には株主に多額の配当金を分配するまでにになりました。

1939-40年にハーバード・テラーがシカゴ・クラブの会長になり、更に、1954-55年にRIの会長に就任したときに、その版權

がロータリーに寄付され、今日に至っています。

「四つのテスト」は世界各国で翻訳されており、広く活用されていますが、複製の使用に当たっては規制があります。日本語訳については、原文の精神が適切に表現されていないとする指摘もあり、いくつかの翻訳が試みられています。

今日はその中で「ロータリーの源流 RI2680地区 田中毅PDG」の4つのテストの解釈を説明します。お手元の資料は先月配布しました、研修会資料のロータリーの基本知識の11ページのコピーです。

読んでもらえばなるほどと思う事ですが、田中毅PDGの解釈は次の通りになります。

Four-Way Test 四つのテスト

本来四つならば複数形であるはずなのが、単数形であるという事は、四つが纏まって1つの基準となり、すべてをクリアすると言う事を意味しています。

実はロータリーの綱領(目的)「The Object of Rotary」も単数形ですので、四つのテストと同じ考え方となっています。

Is it the truth? 真実かどうか

「嘘偽りがないか」という意味であります。真実は人間の心を通じたアナログの判定であるのに対し、事実とは有ったか無かったかの二者択一を迫るデジタルの判定ですから、この訳は「事実」と言う言葉を用いるべきで、「事実かどうか」を意味します。

Is it fair to all concerned? みんなに公平か

Fairは公平ではなく公正と訳すべきです。all concernedはallだけが訳されconcernedが省略されています。Concerned取引先をさすので、「すべての取引に対して公正かどうか」ということを意味します。

Will it build goodwill and better friendship? 好意と友情を深めるか goodwillは単なる好意とか善意ではなく、商売上の信用とか評判、店の暖簾や取引先を表します。この訳は「その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうか」を問うものです。

Will it be beneficial to all concerned? みんなのためになるかどうか Benefitは儲けそのものを表す言葉です。ただし、売り手だけが儲かったり、買い手だけが損をしたのでは公正な取引とは言いません。この訳は「その商取引によって、すべての取り引き先が適正な利潤を得るか」が問題なのだということです。

今まで歌っていた「四つのテスト」の訳も良いですが、当時の考えは会社を再建するための行動指針として作られました。経営者としてはこの訳のほうが理解しやすいのではないかと思います。先週と今週の2回に分けて四つのテストについての話をしまして、本日の会長報告とさせていただきます。

■会務報告 和田 賢二 幹事

(1)第6分区分【IM】開催のご案内

日時 2月26日(日)午後1時～(受付12:30より)

場所 ホテル日航ノースランド帯広

基調講演 地区 職業奉仕委員長 旭川RC 濱口 勝紀 様

特別講演 (株)エフエム北海道 常務取締役 中田美知子 様

友情の宴 17:20～18:30 同会場にて

※尚、帯広西RC、2月16日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、2月24日(金)の繰下げ例会と致します。

帯広南RC、2月27日(月)の繰上げ例会と致します。

帯広東RC、2月28日(火)の繰上げ例会と致します。

(2)帯広5RC・芽室・音更合同例会開催のご案内

日時 2月9日(木)午後0時～午後1時30分(予定)

場所 ホテル日航ノースランド帯広

講師 (株)ヒューマン・パワー・イノベーション代表

NPO法人リーディングインターナショナルネットワークス代表理事 須田 達史 様

※尚、帯広東RC、2月 7日(火)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、2月 8日(水)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、2月10日(金)の繰上げ例会と致します。

帯広南RC、2月13日(月)の繰上げ例会と致します。

(3)帯広RC、移動例会開催のご案内

日時 2月15日(水)午後0時30分

場所 カルビーポテト(株)本社工場

11:45 ノースランド前(乗合希望の方のみ)

12:30 JA帯広かわにし別府事業所会議室にて例会・昼食
(帯広市別府町南18線32) カルビー工場 横

12:55 移動

13:00 カルビーポテト(担当者による企業説明・見学)

13:30 解散

(4)帯広北RC、創立記念例会(夜間例会)開催のご案内

日時 2月17日(金)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

(5)帯広西RC、創立40周年記念例会(夜間例会)開催のご案内

日時 2月23日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

■委員会報告

・出席報告 園尾 眞一 出席委員

2/1 例会の報告 会員総数89名 内免除会員8名 出席者数62名

1/18 例会の報告 メークアップを含む出席者数66名出席率76.7%

・ニコニコ献金 谷山 仁基 親睦活動委員

奥 周盛 会員

建築士会十勝支部長を拝命しました。

奥 周盛 会員

本日の卓話をさせていただきます。

奥原 宏 会員

本日、次年度第一回理事会を開催させていただきます。

■お誕生日祝い



加藤 維利 会員 合田 倫佳 会員

安岡美樹夫 会員 神山恵美子 会員

■ご結婚祝い

小林 善之 会員 若月 誠 会員

■配偶者様お誕生日祝い

橘 精三 会員 合田 倫佳 会員

若月 誠 会員 麻生 幸雄 会員

■2月のプログラム予定

2月 9日(木)「帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会」(世界社会奉仕委員会)

2月15日(水)「移動例会(職場訪問)」※カルビーポテト(職業奉仕委員会)

2月22日(水)「米山学友特別インタビュー」DVD

「私の夢」米山記念奨学生スピーチ 葉 雅斐様(米山記念奨学委員会)

2月29日(水)「新会員のフォローアップについて」(会員増強委員会)

ロータリー情報

「ロータリーの友 2月号」横組P12-14から

日本から3人目の国際ロータリー(RI)会長が誕生します。田中作次RI会長エレクトが2012-13年度についての抱負を語りました。

なぜ私たちはこの世に生きてきたのかと考えてみると、誰でも使命があるのです。私は、年度内に、すべてのクラブが例会でそれぞれの会員に、自分にとって平和が何を意味するのかを話し合ってもらいたいと考えています。RCは地域社会のニーズを認識し、それらのニーズに応えるために努力しなければなりません。互いが持つ平和の意味を認識すれば、クラブの一人ひとりが平和を実現するために力を注いでくれるようになるでしょう。



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日/水曜日 12:30～13:30
例会会場/ホテル日航ノースランド帯広
TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F
TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/安岡美樹夫

高原 淳・田守 由宗・北野 宏明

堀江 威光・辺見 京一・加藤 敏紀

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.jp